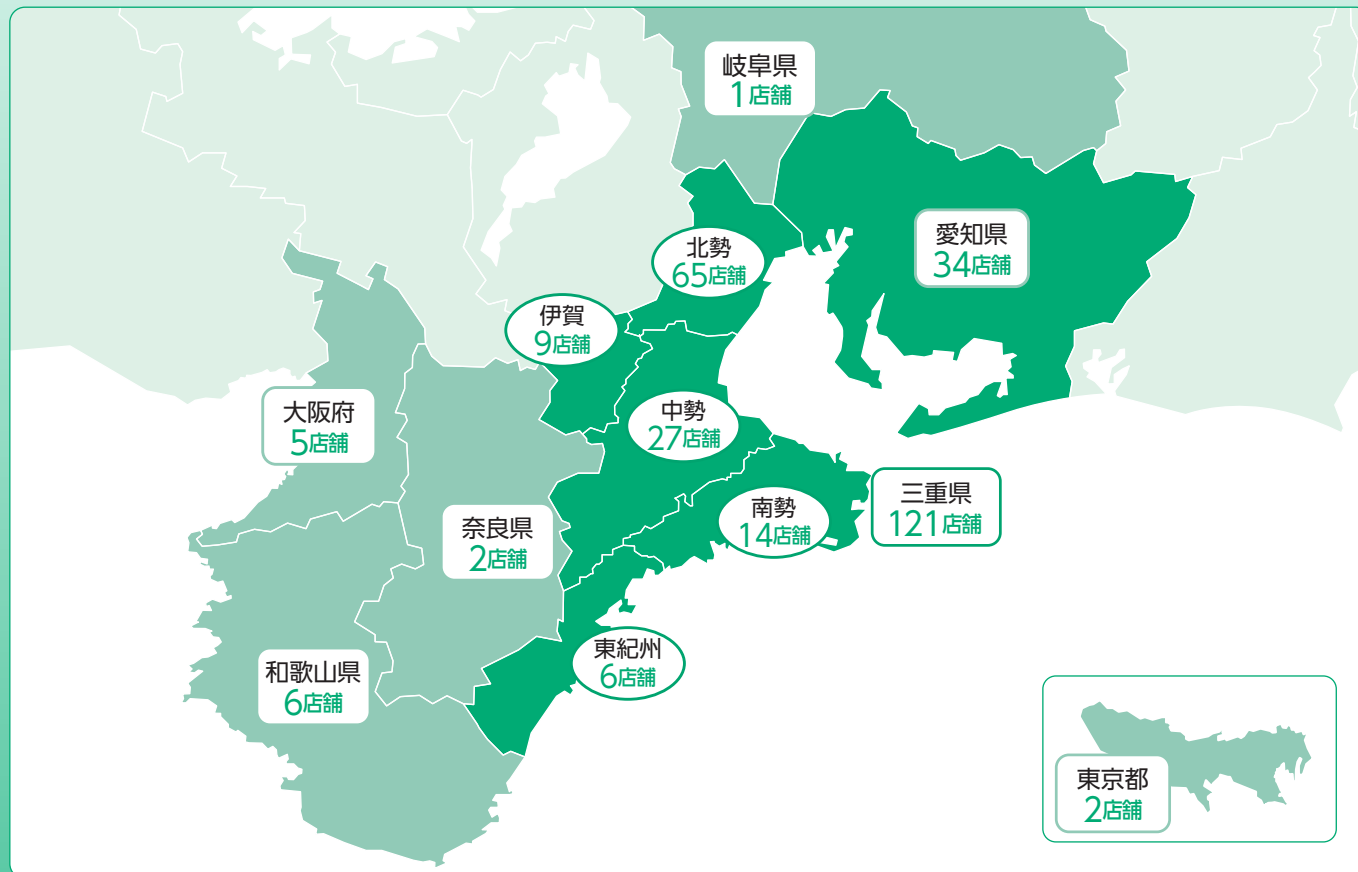


店舗ネットワーク



※店舗数は2021年9月30日現在（ローンプラザは除く）

2021.9

営業の中間ご報告 ミニディスクロージャー誌



“ポムポムプリン”

© 2021 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L621259



三十三フィナンシャルグループ

本店所在地（登記上の住所）／三重県松阪市京町510番地
本社所在地（本社機能）／三重県四日市市西新地7番8号
<https://www.33fg.co.jp/>



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した
植物油インキを使用しています。

2021年12月発行



三十三銀行

三十三フィナンシャルグループ

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の子銀行である株式会社三重銀行と株式会社第三銀行は、
2021年5月1日に合併し、「株式会社三十三銀行」が発足いたしました。
新銀行発足に際しましては、皆さまより一方向ならぬご理解とご支援をいただき、深く御礼申し上げます。
新たに誕生した三十三銀行では、「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」を経営理念といたします。
これまで培ってきた両行の「強み」を完全に融合し、金融仲介機能を高度化させることで、より一層地域経済に貢献できる「質の高い地域No.1 銀行」を目指してまいります。
2021年4月からスタートした第2次中期経営計画では、「リレーション&ソリューションの深化」「経営の効率化・最適化」「強固な経営基盤の確立」の3つの基本方針を掲げ、それぞれで合併シナジーの最大化に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現に向けたグループ総合力を発揮してまいります。
今後とも一層のご厚誼ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年12月吉日

株式会社 三十三フィナンシャルグループ



代表取締役会長 岩間 弘
代表取締役社長 渡辺 三憲

CONTENTS	ごあいさつ	1	SDGsへの取組み	5
	三十三フィナンシャルグループについて	2	店舗統合 (移転) のお知らせ	10
	「三十三銀行」誕生！	3	業績ハイライト	11
	第2次中期経営計画	4	株主・投資家の皆さまへ	13

三十三フィナンシャルグループについて



経営理念 ▶▶▶ 地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、
地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。



三十三フィナンシャルグループ

San ju San Financial Group

本店所在地	三重県松阪市京町510番地
本社所在地	三重県四日市市西新地7番8号
設 立	2018年4月2日
資 本 金	100億円
上 場 取 引 所	東京証券取引所第一部、名古屋証券取引所第一部
格 付	A- (日本格付研究所)





三十三銀行

San ju San Bank

本店所在地	三重県四日市市西新地7番8号
発 足	2021年5月1日
資 本 金	374億円
従 業 員	2,573名 (2021年9月30日現在)
格 付	A- (日本格付研究所)

- <連結子会社> (2021年10月1日現在)

●三十三総研	●三十三信用保証
●三十三リース	●三重総合信用
●三重リース	●三十三コンピューターサービス
●三十三カード	●三十三ビジネスサービス
●第三カードサービス	

▼ 社名に込めた思い
「三十三」(さんじゅうさん) は、旧三重銀行と旧第三銀行のそれぞれの強みをプラス (+) することで、
地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献したいという思いを込めています。

2021年5月1日「三十三銀行」誕生！

テレビCMオンエア

三十三銀行のロゴマークのモチーフである2羽の鳥が、大空へ羽ばたき、人々に力や元気・勇気を与える象徴として、地域の成長と活力あふれる未来の創造を後押しする銀行を表現したテレビCMを制作しました。

三十三銀行「誕生」篇



三十三銀行「つばさ」篇



合併記念キャンペーンの実施

三十三銀行の誕生を記念して、「合併記念キャンペーン」(2021年6月1日～ 9月30日)、合併記念「秋のこつこつキャンペーン」(2021年10月1日～ 11月30日)を実施し、合併記念「教育ローンキャンペーン」(2021年11月1日～ 2022年4月29日)を実施しています。



女性職員の制服導入

三十三銀行としての一体感の醸成を図るため、女性職員の制服を導入しました。



〈冬服〉

ミッドナイトブルーをベースに「安心感」・「信頼感」・「一体感」を表現。リボンは「33」のシンボルマークを「千鳥」に見立てたデザイン。



〈夏服〉

ボーダー織りの生地に、「真珠」をイメージしたボタンを使用。リボンは世界遺産である熊野の風景や伝統工芸「鈴鹿墨」を取り入れたデザイン。

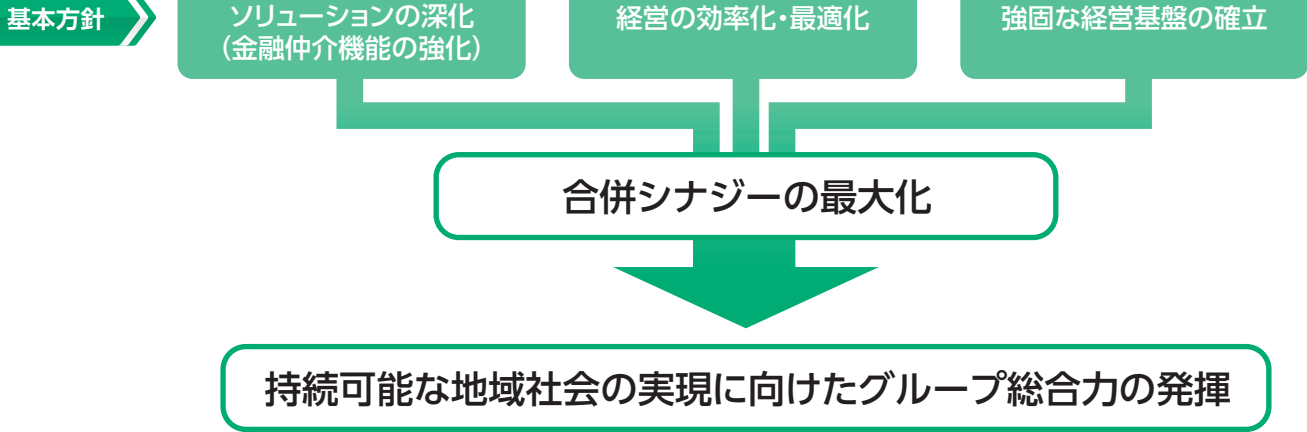
第2次中期経営計画（2021年4月～2024年3月）



ビジョン 質の高い地域ナンバー1金融グループ

位置づけ 完全融合 + 本格的な成果実現

質の高い地域ナンバー1金融グループを目指し、合併により両行の強みを完全融合させ、本格的な成果の実現を通じて更なる成長に向けた取組みを強化する期間



数値目標

ビジネスモデルに関するKPI			財務計数		2024年3月期
リレーション	地元（三重県+愛知県）事業性貸出残高		2021年4月～2024年3月（3年累計）	収益性	65億円以上
					50億円以上
ソリューション	創業支援	支援先数	350先	効率性	79%以下
		ファイナンス先数	1,275先		
	ビジネスマッチング	対応件数	5,100件	※ネットシナジー＝合併シナジー－合併費用	
		成約先数	2,400先		
	事業承継支援件数		1,575件		
	M&Aアドバイザリー件数		75件		

三十三フィナンシャルグループSDGs宣言

三十三フィナンシャルグループは、経営理念「地域のお客さまから愛され信頼される金融グループとして、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献します。」のもと、企業活動を通じて国連が提唱するSDG s (持続可能な開発目標) の達成に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。



1. 地域経済の持続的発展への貢献



事業性評価に基づく融資や創業支援、事業承継、販路拡大、地方創生等、お客さまの課題やニーズに応じた最適なソリューションの提供に努めてまいります。

「三十三クラウドファクタリング powered by OLTA」の取扱開始

三重県の金融機関で初

2021年7月、OLTA株式会社との共同事業として「三十三クラウドファクタリング powered by OLTA」の取扱を開始しました。AIを活用した審査によって「はやく・かんたん・リーズナブル」を特長とし、中小事業者の皆さまに便利に活用いただける資金調達手法です。

※「クラウドファクタリング」とは…
お客さまが商取引で発生した「入金待ちの請求書」を売却して、早期に運転資金をオンライン完結で調達する「借りない資金調達」です。

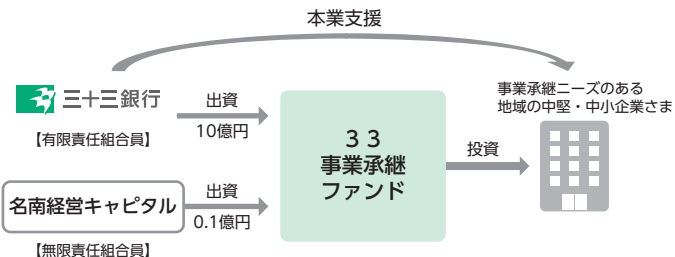


LGBTに対応した住宅ローンの取扱開始

2021年9月より、LGBTに対応した住宅ローンの取扱を開始しました。住宅ローンにおける配偶者の定義に「同性パートナー」を含めることとし、誰もが自分らしく安心して生活できる地域社会づくりに貢献していきます。

「33事業承継ファンド」の組成、第1号案件の投資実行

2021年5月、地域の中堅・中小企業の皆さまの事業承継を支援するため、株式会社名南経営キャピタルと協働で、三十三事業承継1号投資事業有限責任組合（愛称：33事業承継ファンド）を組成しました。2021年6月には第1号案件として、事業承継にかかる株式買取資金の一部を支援しました。



「三十三銀行SBIマネープラザ松阪」の開設

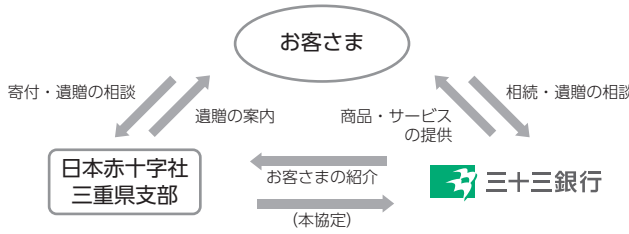
2021年8月、「三十三銀行SBIマネープラザ松阪」の営業を開始しました。三重県津市、愛知県名古屋市に次ぐ三重県松阪市での共同店舗の増設により、より幅広いお客さまへ対面型の専門的な金融コンサルティングサービスのご提供が可能となりました。



住 所：三重県松阪市京町510 (松阪本店ビル内 1 階)

日本赤十字社三重県支部との「遺言を活用した遺贈に関する協定」を締結

2021年8月、日本赤十字社三重県支部と「遺言を活用した遺贈に関する協定」を締結しました。本協定は、日本赤十字社三重県支部へ遺贈を希望されるお客さまに対し、当行がその遺志に沿った寄付をサポートすることで、円滑な遺贈の実現につなげるものです。



シニア向けフリーローンの取扱開始

2021年10月より、60歳以上のシニア世代のお客さまを対象とするお使いみち自由の無担保ローン「三十三銀行 シニア向けフリーローン」の取扱を開始しました。





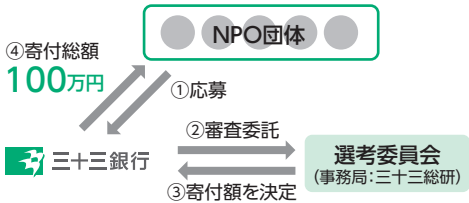
2. 持続可能な地域社会の実現



地域の文化活動、福祉活動およびスポーツ振興の支援や金融リテラシー教育等の提供に努めてまいります。

■「三十三銀行NPO応援基金」による寄付の実施

地元NPO団体に毎年寄付を行い、活動を応援しています。
2021年度は「環境保全」「次世代育成支援」「ダイバーシティ」に加え、新たに「まちづくり」を主な活動分野とするNPO団体に対し、総額100万円の寄付を実施します。



■「三十三ふるさと文化財団」による奨学金給付

公益財団法人三十三ふるさと文化財団(理事長：岩間 弘)は、社会貢献事業の一環として、三重県熊野市及び南牟婁郡に居住する家庭の子弟の方を対象とした奨学金事業を行っています。
2021年度は新たに2名の奨学生を採用し、8名の支援を行っています。

■「お絵かきコンテスト2021」の開催

次世代を担う子どもたちが「食」に関する絵を描くことを通じて、食べることの楽しさ・大切さを見つめ直してもらうために「お絵かきコンテスト2021」を開催し、三重県内各地から963点に上る多数の応募をいただきました。



■ スポーツ振興による次世代育成支援

地域のスポーツ振興による次世代育成を図ることを目的として、小学生を対象としたサッカー、ティーボール、ミニバスケットボールなどスポーツイベントの開催・協賛等を行っています。



33FG杯 第9回三重県小学生ティーボール選手権大会



3. 地域の環境保全



地域における環境活動や環境に配慮した金融商品・サービスの提供に努めてまいります。

■ 環境省「令和3年度地域ESG融資促進利子補給事業(ESG融資目標設定型)」の指定金融機関採択について

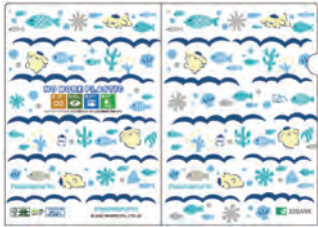
2021年7月、環境省が実施する「令和3年度地域ESG融資促進利子補給事業 (ESG融資目標設定型)」の指定金融機関に採択されました。本事業では、地球温暖化対策のためなど、一定要件を満たす環境に配慮した設備投資を対象としたESG金融に対して利子補給を行うことで、お客さまのSDGsに関する取組みを積極的に支援していきます。

ESG融資目標※
2021年度末迄
90億円

※本事業に係るESG融資及びその他ESG関連融資取組を含む金額

■「エコペーパーファイル」の取扱開始

2021年10月より、企業活動におけるプラスチック使用量の削減に向け、環境に配慮した「エコペーパーファイル※」の取扱を開始しました。
デザインは「脱プラスチック」「海を綺麗に保つ」をコンセプトに作成しました。



※すべて紙素材を使用したファイル

■「熊野古道定期」寄付金の贈呈式

お客さまからお預りいただいた「熊野古道定期」の残高に応じて、2005年より毎年寄付を行っており、2021年8月には、17回目となる寄付金の贈呈式を実施しました。寄付金は東紀州地域振興公社を通じて、世界遺産である熊野古道の保全活動に活用されています。



■ 御在所岳山上での植樹支援

2011年より継続して、御在所ロープウェイ株式会社ならびに認定NPO法人森林(もり)の風が行っている御在所岳の樹木の保全活動に協力しています。
2021年度は御在所岳山上での植樹活動への支援を行いました。





4. 働きがいのある職場づくり



女性の活躍支援をはじめ、性別や年齢を問わず全ての職員が働きがいを持って活躍するための人材育成や労働環境整備等に取り組んでまいります。

ダイバーシティの推進

高度なビジネススキルを有する人材の育成と働きがいのある組織の構築を目指し、ダイバーシティの推進を掲げており、以下のとおり行動計画を定め積極的に取り組んでいます。

- 計画期間 2021年5月1日～ 2024年3月31日
- 計画内容
 - 目標1：指導的立場にある職員のうち女性職員の割合を25%以上とする
 - 目標2：年次有給休暇取得日数を年間12日以上とする

役職員に対する健康の保持・増進の取り組み

経営トップによる「健康経営宣言」に基づき、健康増進体制を整備し、健康経営を推進していきます。

<https://www.33bank.co.jp/doc/other/kenkouhoji.pdf>

<外部からの評価>

次世代育成支援対策推進法に基づく優良な子育てサポート企業として、「プラチナくるみん認定」を取得

優良な健康経営に取り組む法人として、「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」に認定



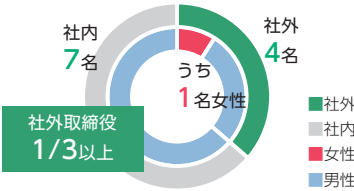
5. 健全経営の実践



コンプライアンスの遵守やリスク管理体制の強化を図り、健全経営の実践に努めてまいります。

取締役会のバランス

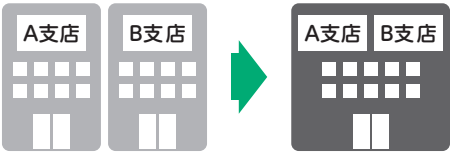
社外取締役の構成比を3分の1以上とし、監督機能の強化を図っています。



2021年7月より、「共同店舗化方式※1」にて店舗統合（移転）を実施しています。（移転する店舗：31店舗）

店舗ネットワークの最適化を図り、経営資源の再配置を通じて、より質の高い金融サービスの提供に努めてまいります。

お客さまにはお手数やご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



(2021年11月30日現在)		
実施日	移転する店舗	移転先の店舗
2021年7月12日 (月)	玉垣支店	旭が丘支店
	南玉垣支店	
2021年7月26日 (月)	中央通支店	新道支店
2021年8月10日 (火)	大阪支店	大阪法人営業部
2021年8月23日 (月)	津中央支店	津支店
2021年9月6日 (月)	天白原駅前支店	天白支店
2021年9月13日 (月)	阪南支店	和歌山支店
2021年9月21日 (火)	鈴鹿中央支店	鈴鹿支店
2021年10月11日 (月)	桑名中央支店	桑名支店
2021年10月18日 (月)	白子中央支店	白子支店
	白子本町支店	
2021年10月25日 (月)	平田町駅前支店	平田町支店
	住吉支店	
2021年11月8日 (月)	久居駅前支店	久居支店
2021年11月15日 (月)	鳥羽支店	鳥羽中央支店
2021年11月22日 (月)	伊賀支店	上野支店

実施日	移転する店舗	移転先の店舗
2021年12月6日 (月)	名張中央支店	名張支店
2021年12月13日 (月)	松阪中央支店	花岡支店
2021年12月20日 (月)	志摩支店	鵜方支店
2022年1月11日 (火)	亀山支店	亀山中央支店
2022年1月17日 (月)	日永西支店	日永支店
2022年1月24日 (月)	富田支店	新築移転 ※2
	富田駅前支店	
2022年2月7日 (月)	鳴海支店	緑支店
2022年2月14日 (月)	千里ヶ丘支店	千里支店
2022年2月21日 (月)	松阪マーム支店	川井町支店
2022年3月7日 (月)	大矢知東支店	大矢知支店
2022年3月14日 (月)	伊勢中央支店	伊勢支店
2022年3月22日 (火)	石薬師南支店	石薬師支店
	移転日は決定次第、ホームページ等でお知らせいたします	
	菰野中央支店	菰野支店
	高茶屋小森支店	高茶屋支店

※1 複数の店舗が同じ建物内にて共同で営業を行う店舗形態です。移転に際して店名・店番や口座番号に変更はございません。

※2 店舗を新築したうえで、両支店が現在地から移転することを予定しています。
新店舗住所：四日市市富田1丁目24番35号

三十三フィナンシャルグループ連結

(単位：億円)

科目	2021年9月期	前年同期比
経常利益	22	▲9
親会社株主に帰属する中間純利益	33	11
自己資本比率	8.97%	0.29%

2021年9月期の業績につきましては、合併・システム統合に伴う経費の増加などにより経常利益は前年同期比9億円減益の22億円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、合併に伴い税効果会計基準の統一化を図ったことにより前年同期比11億円増益の33億円となりました。

三十三銀行 (単体)

(単位：億円)

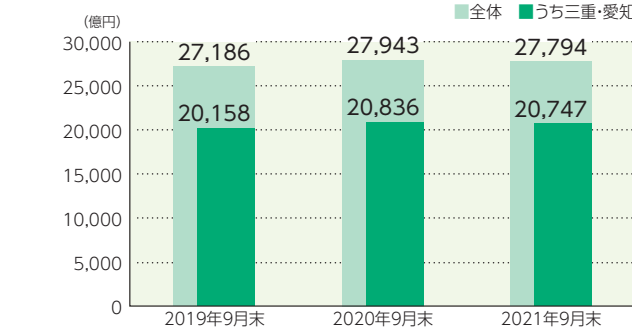
科目	決算ベース※1	合算ベース※2	
	2021年9月期	2021年9月期	前年同期比
業務粗利益	237	254	19
うち資金利益	182	194	4
うち役務取引等利益	41	45	8
経費	▲202	▲220	▲28
コア業務純益	28	28	▲12
業務純益	39	38	26
経常利益	43	47	▲5
中間純利益	55	57	15

※1 決算ベース (2021年9月期)：2021/5～2021/9の三十三銀行の計数+2021/4の旧第三銀行の計数を単純合算
※2 合算ベース (2021年9月期)：2021/5～2021/9の三十三銀行の計数+2021/4の旧三重銀行及び旧第三銀行の計数を単純合算
合算ベース (前年同期比)：前年の旧三重銀行及び旧第三銀行の単純合算値との比較

貸出金残高※3

2兆7,794億円

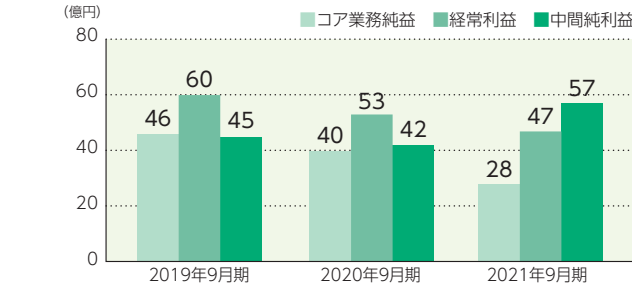
貸出金は、個人向けローンを中心に、前年同期末比149億円減少しました。



利益※3 (合算ベース)

コア業務純益 28億円 経常利益 47億円 中間純利益 57億円

業務粗利益は増加したものの、合併・システム統合に伴う経費の増加などによりコア業務純益は前年同期比12億円、経常利益は同5億円の減益となりました。一方、中間純利益は前年同期比15億円の増益となりました。

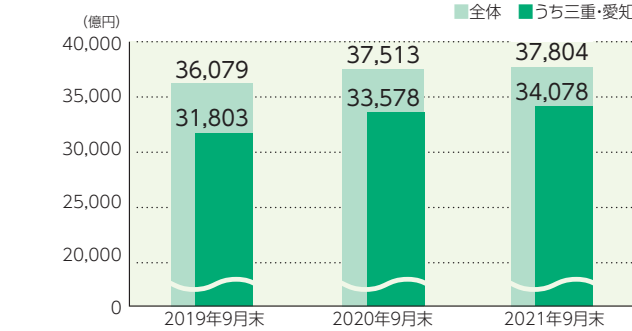


※3 2019年9月末・2020年9月末、2019年9月期・2020年9月期につきましては、旧三重銀行及び旧第三銀行の2行合算(単体)の計数を記載しています。

預金・譲渡性預金残高※3

3兆7,804億円

預金・譲渡性預金は、個人預金を中心に、前年同期末比290億円増加しました。



自己資本比率 (国内基準)

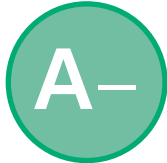
8.66%(単体) 8.74%(連結)

不良債権比率

2.42%

格付け (FG・三十三銀行)

日本格付研究所(JCR)
長期発行体格付
債務履行の確実性は高い



■ 新市場区分「プライム市場」を選択

当社は、東京証券取引所より新市場区分において「プライム市場」の上場維持基準に適合しているとの通知を受け、2022年4月4日に予定されている新市場区分への移行について「プライム市場」を選択することを決議いたしました。

■ IR活動

当社では、機関投資家等の皆さま向けに当社の経営状況等をご理解いただけるように、定期的に「インフォメーションミーティング」を開催するなど、情報発信活動（IR活動）に取り組んでおります。

※2021年度は、電話会議形式にて実施いたしました。



▲IR資料は当社ホームページにてご覧いただけます。

■ 株主優待制度

①株主優遇定期預金

対象となる株主さま	基準日時点で当社株式70株以上をお持ちの株主さま
対象となる預金の種類	スーパー定期1年もの
適用金利	預入時の店頭表示金利+0.15%
預入金額	10万円以上、100万円以下
預入期間	1年
取扱店舗	三十三銀行の全支店

※毎年3月31日、9月30日を基準日とします。(年2回)

②カタログギフト

対象となる株主さま	基準日時点で当社株式500株以上をお持ちの株主さま
内容	株主総会の決議ご通知発送時に同封するカタログから、お好みの商品をお選びいただけます。

※毎年3月31日を基準日とします。(年1回)
・優待内容については、今後、見直しさせていただく場合がございます。

■ 単元未満株式の買取(ご売却)・買増(ご購入)請求、住所変更等の各種お手続きについて

証券会社等に口座をお持ちの株主さま……お取引のある証券会社等にお問い合わせください。

証券会社等に口座をお持ちでない株主さま……右記の日本証券代行株式会社にお問い合わせいただくか、日本証券代行株式会社ホームページ (<https://www.jsa-hp.co.jp/>) 上の「株式に関するお手続き」をご参照ください。

■ 未受領の配当金等に関するお手続きについて

当社の株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。(☎0120-707-843)

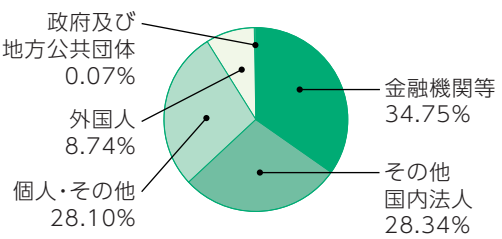
(未受領の配当金につきましては、日本証券代行人支店及び三井住友信託銀行本支店で支払いいたします。)

■ 株式の状況(2021年9月30日現在)

発行済株式の総数	30,367,585株
普通株式	26,167,585株
第一種優先株式	4,200,000株

株主数	
普通株式	16,680名
第一種優先株式	1名

■ 普通株式所有者別分布状況(2021年9月30日現在)



■ 株式のご案内

- 事業年度…… 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会…… 毎年4月1日から3カ月以内に開催いたします。
- 定時株主総会の基準日…… 毎年3月31日
- 公告の方法…… 電子広告により行います。
【公告掲載URL】<https://www.33fg.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

- 上場証券取引所……東京証券取引所市場第一部 (普通株式)
名古屋証券取引所市場第一部
- 証券コード……7322
- 1単元の株式の数……100株(証券市場での売買単位)
- 株主名簿管理人……日本証券代行株式会社
(特別口座管理機関) 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

郵便物送付先
及び
電話お問い合わせ先

日本証券代行株式会社 代理人部
〒168-8620
……東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
受付時間(平日9:00～17:00)

■ ホームページのご案内

財務・IR情報、株式関係情報、ニュースリリースなどを掲載しております。

三十三フィナンシャルグループ

検索

<https://www.33fg.co.jp/>